

余裕をもった渋滞緩和策を講ぜよ!

山崎議員 能越自動車道の開通により、大型連休や青柏祭などの祭事における幹線道路の交通渋滞が悪化したり、中心市街地の駐車が困難になったりすることが予想されるが、どのような対策を考えているのか。

小川産業部長 今回の能越自動車道の開通で、連休や祭事には今までより多くの車が訪れると想定されるため、新たな駐車場を利用したシャトルバス運行を検討している。渋滞解消には、警察や道路管理者と十分協議し、渋滞緩和に努める。

山崎議員 余裕を持った渋滞緩和策のため、JRを使ったパークアンドライドや七尾歴史公園の駐車場を活用したシャトルバスを運行する考えは、

登美市民生活部長 JRを使ったパークアンドライドは近くの駐車場も少なく、難台駅に能登国分寺公園の駐車場は約300台に駐車可能なため、管理者の県と協議して実施に向けて進めていきたい。

山崎議員 祭事には矢田新の第一埠頭や県有地を臨時駐車場として確保しているが、その周辺には散策や周遊できる観光素材が多くあり、徒歩での周遊観光が可能と考えられる。周遊性整備を検討すべきで

魅力の小産業者 市街地には古い街並みや魅力的な寺社仏閣もあり、多くの方々に見て触れていただくことが大事。最近では、商店街有志が独自で周遊性を高める取り組みを行っている。今後も観光客がまちなかを散策できるように地域の方々とともに検討していく。

その他の質問項目

- ストローク現象対策
- 行政機構改革



七尾インター付近

※パークアンドライド…自動車最寄りの駅やバス停まで行き、車を駐車させた後、バスや鉄道などの公共交通機関を利用して目的地に向かうシステム

より地産地消を推進した学校給食を!

久保議員 学校での食に関する知識や健全な食生活を実践する力など、心身ともに健康を保つことの大切さをどのよう推進しているのか。また、地産地消をもっと推進すべきと思うが、考えを伺う。

近江教育長 市内の学校では、給食を生きた教材として活用し、食育推進に生かしており、給食試食会で保護者に給食の目的や献立レシポの説明、または地元で獲れた農産物を使用した料理教室などを行っている。平成27年2月末現在で給食の地産率(県産)は25.4%。うち七尾産は約半分。27年度から第2次七尾市食育推進計画をもとにさらなる拡大に向けて取り組む。

久保議員 学校給食費を適正取り扱っていない家庭に対し、保護者はどのような考えをもっているのか。

近江教育長 給食費未納のうち約6割が保護者の責任感や規範意識が薄いという結果。教育委員会と学校では、未納が発生した場合、電話や文書通知、面談などを保護者と行い、適正取納に努めている。

久保議員 牛乳は家庭で不足しているカルシウムなどを補ってくれるため、給食から外すべきではないと思うが、牛乳なし給食についての考えを伺う。

近江教育長 学校給食は適切な栄養摂取により健康の保持、増進を図る目的で、牛乳はカルシウムが多く重要な役割。成長期には必要な食品なため、牛乳なし学校給食は考えていない。

その他の質問項目

- 家畜特定伝染病



市内の学校給食

県文化振興基金を有効活用せよ!

松本議員 石川県では文化振興基金を拡充し、運用益を年間1億2,000万円見込み、公募枠は8,000万円に設定する見込み。石川の伝統芸能や食などに磨きをかけると同文化イベントや地域の伝統文化の後継者育成など、小規模な取り組みに対しても対象とする。市では、これまで文化振興基金を活用した事例はあるのか。また、今後の活用策はあるのか。さらに、市内地域の団体から基金を活用したいとの要望があったとき、どのような対応を考えているのか。

近江教育長 七尾市でこの基金を活用した事例は、石川ジュニア・ジャズ・アカデミー事業と能登山家創立600年事業の2つ。この基金の公募事業は、県内全域を対象とする大規模なものとして市の地域で開催される文化イベントや地域固有の伝統芸能に関する後継者育成などを対象とする2種類の補助メニューが用意されている。七尾市には長谷川等伯に関するもの、七尾城跡、七尾さらだ、榊旗祭り、曳山祭り、後世に残すべき食文化など、文化遺産が豊富にある。市内の各種文化団体がこれらを主体的に活用するよう、申請方法や事業内容について丁寧にアドバイスしていきたい。

その他の質問項目

- 多子世帯の経済的負担軽減策
- 人口減少対策
- プレミアム付き商品券等
- 介護支援ポイント制度
- 介護保険改正
- 改正半島振興法
- まちづくり計画の変更



石川ジュニア・ジャズ・アカデミー事業

積極的なポートセールスをせよ!

永崎議員 今年の5月にクルーズ船「日本丸」が七尾港に寄港するが、七尾市の「ポートセールス」活動はどのようなことを行っているのか。

不嶋市長 官民からなる七尾港整備振興促進協議会で、断続的に国内クルーズ船の船会社や旅行代理店へ訪問している。また、担当者や七尾へ呼んで七尾の魅力を体験してもらいながら七尾をPRし、観光プランなども提案しつづけている。

永崎議員 ポートセールスで最も重要なのは、七尾の魅力ある観光地であるかどうかがという点。七尾の現状をどう認識しているのか。

不嶋市長 七尾の魅力だけではなく、広域観光での検討が必要だと考える。七尾には、能登食祭市場、七尾城跡などの文化遺産、和倉温泉や魚料理、数多くの祭礼など、七尾の魅力を活かした形で寄港で、七尾だけで完結するものではないと考える。観光列車や能越道などを利用した企画なども提案していきたい。

永崎議員 ポートセールスの積極的な取り組みによって、クルーズ船の誘客が衰退する七尾港の振興にメリットをもたらすと思うが見解を伺う。

不嶋市長 七尾ならではのものは何なのかをしっかりと見据えて、1隻でも2隻でも入港して七尾にお金を落としてもらい、七尾ファンが増えるような取り組みを地道にやっていきたい。

その他の質問項目

- 地方創生
- 公共施設の老朽化対応
- 新テニスコート
- まちづくり計画



昨年寄港した飛鳥II

※ポートセールス…港の管理者が関連企業などに自らの所有する港のメリットを説明し、船舶や貨物を誘致すること

センター機能見直しについて十分な検討を!

高橋議員 平成28年から3市民センターの機能が一部本庁に移る形で、業務を縮小する方向で進めていく予定になっているが、住民の理解を得られていないのか。

岡野総務部長 1月下旬に田鶴浜、中島、能登島の各地域で地域づくり協議会や審議会の方々などに説明し、利用頻度の高い証明書発行等の業務を残した機能で実施する内容で説明し、理解をいただいている。

高橋議員 証明書発行業務以外にも課題が残る。コミュニティセンターのセンター長と公民館の館長を兼務する話がある。役割がかなり違うと思うが、見直す考えはないのか。また、センターの業務を本庁に集約することによって、大きなコストダウンと業務の効率化に繋がっていくのか。

岡野総務部長 センター長と館長の兼務については、現在のところ検討中である。また、集約化によって一括管理でき、効率の上がる。

高橋議員 集約化によって何度も手続きに足を運ぶことがないよう、センターでのサポートをしっかりとるように。また残り1年となり、いつまで何を決め、どの程度の説明会を行っていくのか。

岡野総務部長 市民からいただいた意見を集約し、再度庁内で課題を検討しているところ。3月下旬から4月上旬にかけて改めて地域へ説明にあがる。

その他の質問項目

- 公民館のコミュニティセンター化
- 協働のまちづくり推進事業
- 地方創生
- 和倉温泉多目的グラウンドおよび能登島グラウンド



市民センター窓口

幅広い視野で児童虐待防止に努めよ!

大林議員 平成26年度で七尾児童相談所や警察署に児童虐待で何件の相談があったか。また、七尾市にも相談があったのか。

北谷健康福祉部長 まず25年度で、児童相談所から通告があった件数は近隣の方々から4件、知人から5件、警察から2件、その他を合わせて計22件。26年度については、まだ公表していないが、以前から続いているものが26件ある。

大林議員 25年度に県内で688件の相談があった状況をみれば、七尾市は少なく安心した。しかし、26年度において全国で児童虐待死が51人もいた。今後このようなことがあっては困る。児童虐待を見つけては、また児童虐待をなくすためにはどうすればいいか伺う。

北谷健康福祉部長 市の役割とすれば通告義務が大事。七尾市では、人権擁護委員や民生委員、学校、保育園、法務局、警察、医療機関などから構成される七尾市要保護児童対策地域協議会を立ち上げ、連携しながら児童虐待の早期発見に努めている。また児童虐待をなくすためには、社会全体で解決すべき問題として、よく話し合いをすることが大事。全国的に毎年11月を児童虐待防止月間・オレンジリボンキャンペーンとし、オレンジリボンを児童虐待のシンボルにしている。期間中、グッズやチャラシの配布を行ったり、イベントなども行ったりして児童虐待防止に努めている。

その他の質問項目

- 保育所の騒音



児童虐待シンボル オレンジリボン

七尾市議会の採決結果や詳しい答弁内容はホームページにて公開しています。

七尾市議会

検索